

琉球大学学術リポジトリ

戦後台湾における「沖縄籍民」の引揚げの諸相

メタデータ	言語: ja 出版者: 琉球大学 公開日: 2018-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中村, 春菜 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/40990

様式第 13 号

琉球大学大学院
人文社会科学研究科委員会 殿

博士論文審査委員会

主査 赤嶺 守 印

副査 大城 学 印

副査 豊見山和行 印

学位（博士）論文審査の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、学位論文の審査を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	■■■■■	学生氏名	中村春菜
人文社会科学研究科 比較地域文化専攻		主指導教員	赤嶺 守
		副指導教員	大城 学・豊見山和行
成績評価	○合格 不合格		
論文題目	戦後台湾における「沖縄籍民」の引揚げの諸相		
審査要旨	<p>本論文は、終戦直後、台湾に在留していた約3万人の沖縄県人の引揚げに関する論文で、中国側政府の刊行した既刊や未刊の一次史料や、県や市町村史に収録された台湾引揚者の証言、および筆者自身による聞き取り証言を用いるマルチ・アーカイバルの手法で、沖縄県人の台湾引揚げの諸相を明らかにしている。</p> <p>戦後、中華民国政府は沖縄における日本政府の領有主権を認めておらず、引揚げについても日本人を「日僑」、沖縄県人を「琉僑」と区別し、その送還の方法も異なっていた。本稿では、沖縄県人の引揚げに関わった「沖縄同郷会連合会」「沖縄僑民総隊」「琉球官兵」といった組織の実態、そして引揚げ方法について詳細に検証している。戦後、70年以上も経過し、引揚げ経験者が高齢化し証言を取ることで自体が困難になっている状況下で実施された調査研究の意義は大きい。一般日本人の引揚げとは異なる極めて特殊な沖縄県人の引揚げといったこれまでほとんど研究がなされてこなかった領域で、研究の独創性そして体系化においても十分な成果をあげている。</p> <p>以上のことから、審査委員会では、3人の委員が一致して、博士論文の水準に十分に達しているものと判断した。</p>		

様式第14号

琉球大学大学院
人文社会科学研究科委員会 殿

博士論文審査委員会

主査 赤嶺 守 印

副査 大城 学 印

副査 豊見山和行 印

最終試験の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、最終試験を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	学生氏名	中村春菜
人文社会科学研究科 比較地域文化専攻	主指導教員	赤嶺 守
	副指導教員	大城 学・豊見山和行
成績評価	○合格 不合格	
審査要旨	<p>副査・豊見山和行の総括のもとで、申請のあった博士論文の内容とそれに関連する授業科目について口頭による最終試験を行った。本論文題目は「戦後台湾における〈沖縄籍民〉の引揚げの諸相」である。</p> <p>以下の3点を軸に試験を行った。</p> <p>まず、口頭試問での関連質問を行い、本論文が学位の水準に達していることを確認した。次に、本論文に関連する基礎的な専門知識や自らの論文の研究上の位置づけを問い、研究上の貢献があったことを確認した。そして、本論文で取りあげた研究分野に関する授業科目「琉球中国関係史特論」「琉球中国関係史演習」「国際開発協力特論」「国際開発協力演習」「比較地域文化総合演習」「比較地域文化特別研究」などの視点から、学位に相応しい研究能力とその学識を有していることを確認した。</p> <p>以上の点から、本審査委員会は、本論文に加え、その分野における学位の水準に達していると認め、最終試験に合格と判断した。</p>	